

Ⅲ 令和元年度企業会計の決算状況

1 水道事業会計

〔概要〕

令和元年度の水道事業の運営については、安定給水の確保と住民福祉の向上を図るため、施設の維持管理、改良整備、更新等を実施しました。

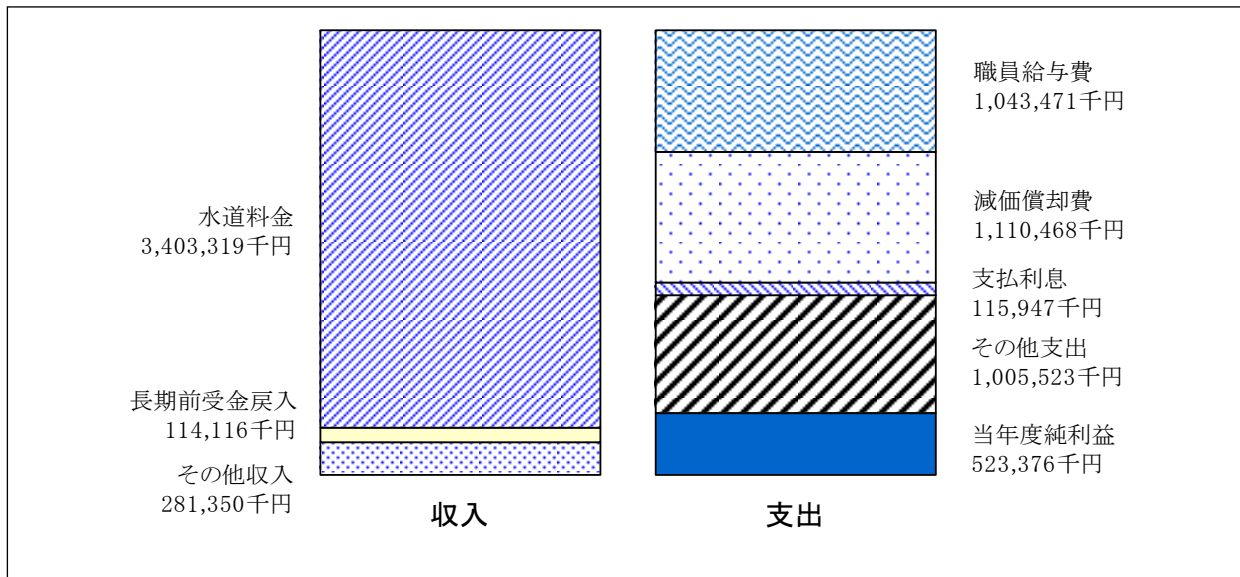
主な事業としては、地震等の災害対策として配水管の耐震化を図る基幹管路整備工事、老朽管更新工事、浄水施設の老朽化対策として広瀬浄水場濃縮槽濁度計更新工事等を実施しました。

給水状況については、給水戸数は72,689戸(前年度比99.9%)で、給水量は19,658,008 m³(前年度比95.7%)となり、有収水量は18,097,334 m³(前年度比98.4%)となりました。

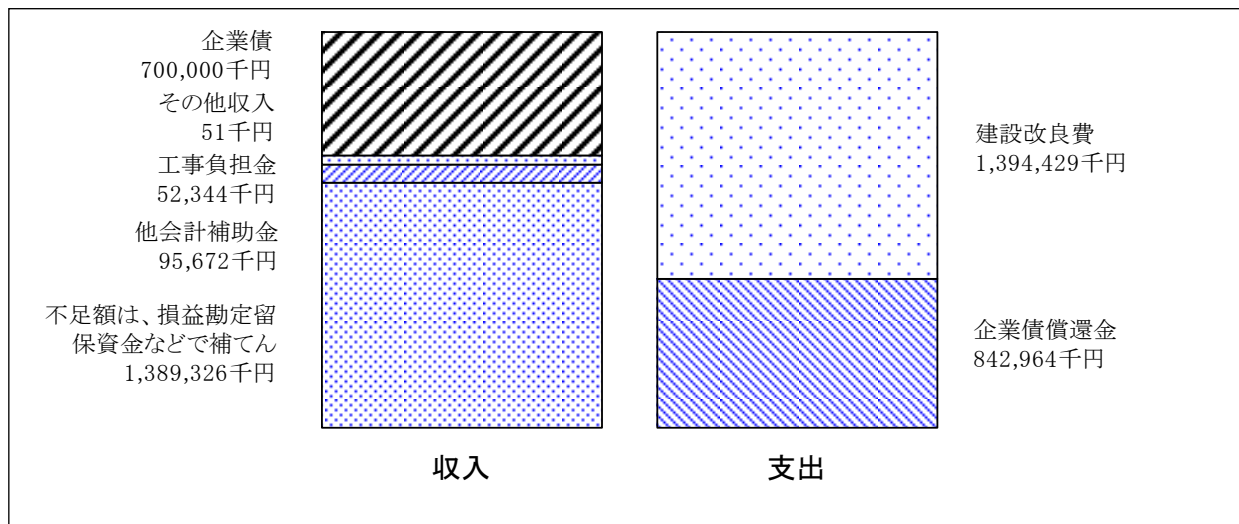
経営成績については、事業収益は3,798,785千円に、事業費用は3,275,409千円となり、収支差引の結果、当年度純利益は523,376千円に、また、当年度未処分利益剰余金は823,376千円となりました。

一方、資本的収支については、収入848,067千円、支出2,237,393千円となり、差引不足額は1,389,326千円となりましたが、これは、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額112,442千円、減債積立金200,000千円、建設改良積立金100,000千円、過年度分損益勘定留保資金290,027千円及び当年度分損益勘定留保資金686,857千円で補てんしました。

〔収益的収支〕



〔資本的収支〕



※資本的収入額は、翌年度繰越工事財源の額を控除した額